

〔Daily 日本史〕 ～古代文化のチェックをしよう！～

【問】 2003 年 立命館大学

次の文章〔1〕～〔3〕を読んで、以下の(a)～(p)の問いに答えよ。

〔1〕 旧石器時代には現在とは異なる動物が生息しており、狩猟の対象となっていた。①長野県の湖底の遺跡では、Aやヤバオオツノシカといった動物の骨が発掘されており、捕獲した動物の解体場と考えられている。縄文時代になると、もっとも一般的な狩猟対象はBとシカに変わり、Cが飼育されるようになったことはその墓の存在からも明らかである。②約1万年前以降には貝塚が出現し、③魚介類も主要な食料源となる。BやCなどの動物や貝をかたどった土製品も作られた。ただし、この時代のもっとも基本的な食料源は④木の実などの植物質食料で、一部には栽培されていたものもある。縄文時代最終末ないし弥生時代初頭には本格的な水稻耕作がはじまり、⑤金属器が導入され、⑥集落の姿も変化した。家畜については、弥生時代にブタが飼われていたようだが、Dについては古墳時代になってはじめて飼育されるようになった。

(a) 空欄A～Dに、もっとも適当な動物を、次の(ア)～(タ)から1つ選び、記号で答えよ。

- | | | |
|------------|------------|-------------|
| (ア) イヌ | (イ) ウマ | (ウ) イノシシ |
| (エ) ネコ | (オ) ツキノワグマ | (カ) ナウマンゾウ |
| (キ) マンモス | (ク) サル | (ケ) ニホンオオカミ |
| (コ) マチカネワニ | (サ) タヌキ | (シ) トラ |
| (ス) ヒツジ | (セ) ネズミ | (ソ) トキ |
| (タ) クジラ | | |

(b) 下線部①の湖の名を記せ。

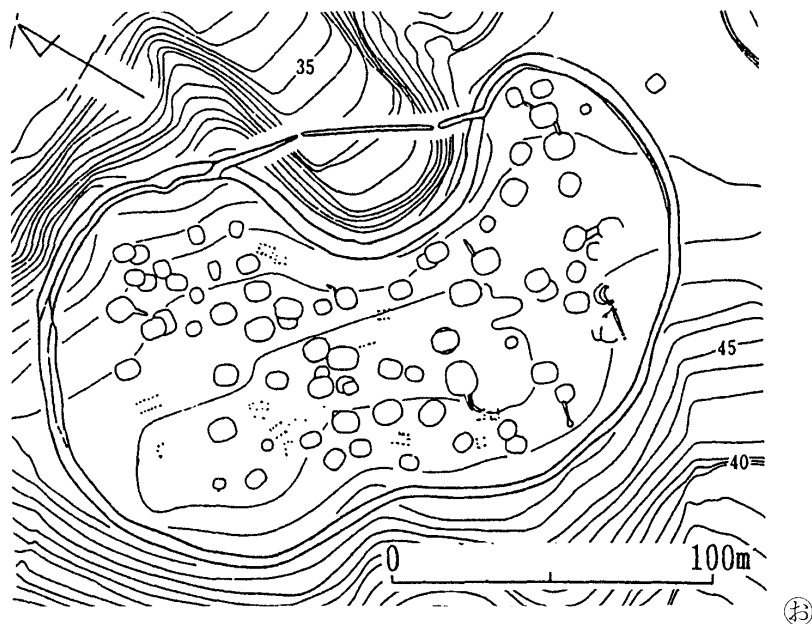
(c) 下線部②に関連して、この時代は地質学的時代区分上、何と呼ばれているか。次の(ア)～(エ)から一つ選び、記号で答えよ。

- (ア) 洪積世 (イ) 更新世 (ウ) 完新世 (エ) 中生代

(d) 下線部③に関連して、縄文時代の遺物のうち、漁具として**不適当なもの**を次の写真①～④から一つ選び、記号で答えよ。



- (e) 下線部④に関連して、木の実などを磨りつぶす時に使用した大型の盤状の石器を何と呼ぶか。
- (f) 下線部⑤に関連して、358本の銅剣、16本の銅矛、6個の銅鐸が埋納されていたのがみつかった島根県の遺跡名は何か。
- (g) 下線部⑥に関連して、次の図⑦は弥生時代の典型的な集落の一つだが、このような集落を何と呼ぶか。



〔2〕 人の埋葬が確認されるのは、イラクの洞窟遺跡で発見された約6万年前の⑦ネアンデルタール人が最古の例と考えられている。日本では後期旧石器時代の大阪府はさみ山遺跡から土葬の跡と推定される穴が発見されている。

縄文時代の墓には、穴を掘ってそのまま土葬する土壙墓、石を使用する配石墓などがある。また、共同墓地に標識となる環状列石を設けるものも登場する。人骨が確認される場合、一部伸展葬もあるが、ほとんどは□Eの状態が発見される。この□Eは、死者の霊が災いをおよぼすことを恐れたためと理解されている。

弥生時代になると、より丁重に死者を葬るようになり、木棺墓・箱式石棺墓・成人用の甕棺墓などが登場する。⑧北部九州に現われる甕棺墓の中には青銅製武器や多量の中国製□Fを副葬したものがあ、集団のなかに階層差が生まれ、権力をもった支配層が現われたことを物語ってくれる。また、⑨墳丘墓と呼ばれる盛り土をもった墓が出現するのも、弥生時代からの特徴である。この墳丘墓が発展し、次の古墳時代には首長墓として巨大な前方後円墳が誕生することになる。

(h) 空欄□E □Fに、もっとも適当な語句を入れよ。

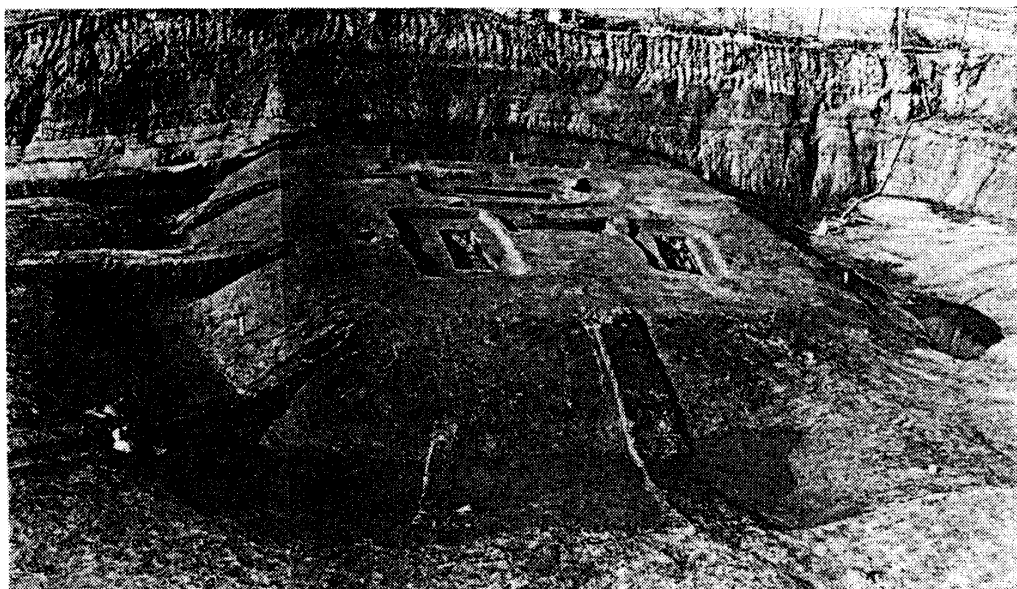
(i) 下線部⑦について、化石人類は進化の過程にしたがって四つに分類されるが、ネアンデルタール人はどの範疇^{はんちゆう}に属するか。次の(ア)～(エ)から一つ選び、記号で答えよ。

(ア) 猿人 (イ) 旧人 (ウ) 原人 (エ) 新人

(j) 下線部⑧について、北部九州の甕棺墓の副葬品として**適当でないもの**を、次の(ア)～(エ)から一つ選び、記号で答えよ。

(ア) 銅鐸 (イ) 銅矛 (ウ) 銅戈 (エ) 銅剣

(k) 下線部⑨に関連して、次の写真⑩は、大阪府瓜生堂遺跡^{うりゆう}から発見された、方形の低い墳丘をもつ代表的な墳丘墓である。その名称としてもっとも適当な語句を答えよ。



⑩

〔3〕 6世紀に百済から日本に伝えられた仏教は、蘇我氏と王室の保護を受け、飛鳥文化として花開くことになる。皇族や豪族によって多くの寺院が^{こんりゅう}建立され、古墳にかわって、その権威をあらわすものとなった。このころに創建された奈良県飛鳥寺・⑩法隆寺・⑪中宮寺、京都府広隆寺は、現在もなお法灯を保ち、飛鳥文化の遺品を数多く伝えている。

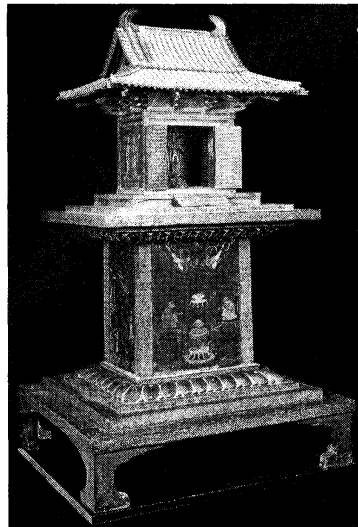
7世紀後半、律令国家の形成期に新たな活気ある清新な文化がおこる。天武・持統天皇は⑫大官大寺・薬師寺などの官寺を建立し、また、地方にも多くの寺院がたてられるようになる。朝廷によって仏教は保護・統制され、いっそう仏教文化が栄えた。この文化を代表する仏像としてよく取り上げられる⑬興福寺仏頭は、この文化の若々しさ、明るさをあらわす。

奈良時代には中央集権的な国家体制が整い、貴族文化が栄えた。前代に引き続き仏教文化が隆盛し、聖武天皇は国ごとに国分寺・国分尼寺をつくることとし、奈良には東大寺を建立し、⑭金銅の盧舎那仏が造立された。この文化は唐の文化の強い影響をうけ、正倉院宝物に見られるように、国際色豊かなものであった。

(1) 下線部⑩に関連して、この寺の文化財として**適当でないもの**を、次の写真㉔～㉞から一つ選び、記号で答えよ。



㉔



㉕



㉖

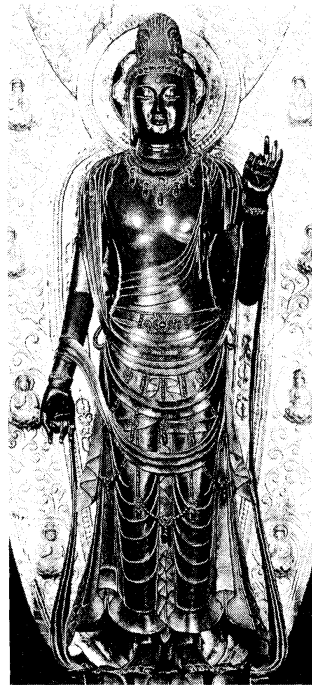


㉞

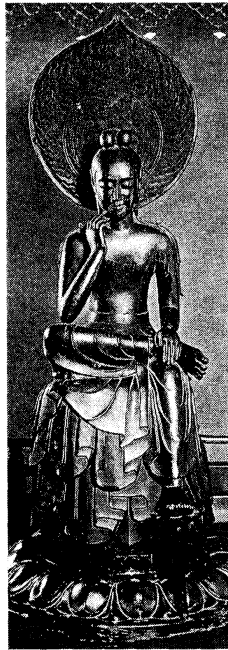
(m) 下線部⑪に関連して、中宮寺所蔵の飛鳥文化を代表する仏像として、もっとも適当なものを、次の写真㉔～㉞から一つ選び、記号で答えよ。



㉔



㉕



㉖



㉞

(n) 下線部⑫について、この寺は藤原京期に改称され、平城京遷都とともにその京内に移されるという変遷をたどる。改称後の寺名を答えよ。

(o) 下線部⑬について、この仏頭は本来興福寺のために造立されたものではなく、蘇我石川麻呂によって創建された飛鳥の古寺から奪い取られたものである。この古寺として、もっとも適当なものを、次の(ア)～(エ)から一つ選び、記号で答えよ。

(ア) 山田寺 (イ) 弘福寺 (ウ) 薬師寺 (エ) 橘寺

(p) 下線部⑭について、このころ聖武天皇は都を幾度となく移すが、当初盧舎那仏の造立も奈良以外の地で行われた。その地名を記せ。

【解答】

〔1〕

(a) A か B う C あ D い

(b) 野尻湖 (c) う (d) あ (e) 石皿

(f) 荒神谷遺跡 (g) 環濠集落

〔2〕 (h) E 屈葬 F 銅鏡(鏡) (i) い (j) あ

(k) 方形周溝墓

〔3〕 (l) き (m) す (n) 大安寺 (o) あ (p) 紫香楽